

繊維産業の取引慣行・取引条件
実態調査報告書

平成15年度

中小企業総合事業団

序

中小企業総合事業団繊維ファッション情報センターでは、国からの支援を得て、情報化導入支援事業を実施しております。

当該事業は、新繊維ビジョンに提示されたSCM体制構築のため、繊維中小事業者の情報技術向上と普及を目的に、事業団内に研修検討会（座長：日本大学大学院 菅澤 善男教授）を設置して、情報化に関する研修事業のテーマ作成や情報化導入事例実証等の情報化推進教材を作成しております。

本教材は、ビジョンにおいて具体的に述べられた「SCMの推進を図るためには、国内取引では、これまでなかなか困難であった取引の条件や慣行の是正や統一化・平等化を含む、川下と川中、川上との真のコラボレーションが実現されなければならない」との指摘を具現化するために繊維産業の取引慣行・取引条件実態調査を実施し、集計分析結果を教材として作成したものです。

本書では繊維産業全業種にわたり、各種各様（業種別、資本金別、前回調査比較等）の分析を行い、とりまとめるとともに、従来の販売先に対する調査の他、今回は仕入先に対する調査項目を加えて実施いたしました。

繊維産業に携わる多くの方々が取引改善という困難な問題と向かい合い、これまでを振り返り、反省し、改善に向けて決意を新たにすることを期待しております。

本書作成にあたっては、取引慣行・取引条件実態調査にご協力、ご回答頂いた735企業の方々を始め、関係各方面の方々に貴重なご意見を頂いたことに対し、あらためて敬意を表したいと思います。

平成16年3月
中小企業総合事業団
繊維ファッション情報センター

平成 15 年度

繊維産業の取引慣行・取引条件実態調査報告書

目 次

	頁
1 調査の概要	1
2 集計・分析結果の概観	9
3 集計・分析の結果	2 4
4 考察	6 2
編集後記 取引改善事業は、如何にあるべきか	6 8
付録	
1 取引基本契約書モデル	7 7
2 取引慣行と法規定	8 7
資料	
1 業種別取引慣行総括グラフ	9 4
2 アンケート票	1 0 3
3 アンケート結果集計表	1 1 4